

平成24年度 東日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事要旨

開催日時：平成24年12月14日（金） 10:00～12:00

場 所：東日本高速道路株式会社 本社 15階会議室

出席者：杉山委員長、家田委員、岩貞委員、門脇委員、亀山委員
中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 山内委員

議 事

1. 事業評価について

(1) 〈審議〉重点審議案件の選定について

事業評価監視委員会の重点的かつ効率的な会議運営に資することを目的に、対象事業を選定基準に基づき「重点」審議案件と「一般」審議案件に選定し、了承された。

(2) 〈審議〉事後評価の概要と評価結果及び対応方針（案）

○一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（八王子JCT～青梅）

※中日本高速道路株式会社との合同審議

○日本海沿岸東北自動車道（新潟空港～荒川胎内）

評価結果及び対応方針（案）については事務局（案）のとおり了承された。

なお、評価内容に関する主な意見や資料の一部修正等は以下のとおり、

○一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道（八王子JCT～青梅）

1) 主な意見や質疑

①高尾山については、ミシュランガイドやパワースポットということで非常に人気になったところであり、ケーブルカー・リフトの輸送人員の増加要因が当該路線によるものなのか評価出来ないため修正すること。

②事後評価の結果は今後の計画に反映することが大事なので、事業費の増減理由の整理や交通量の推計値と実績値との差の分析を行い、資料へ記載すべきである。

③評価結果については、資料に記載されているとおり当該路線は大きな効果を上げていると考えられるのでその旨を記載すべき。また、圏央道沿線に工場等が立地して、当該路線の機能が大いに発揮されている。今後、環状道路のネットワークを形成することがますます意味を持ってきていると考えられる。

④自然環境保全対策については、非常に熱心に取り組んでいただいた。環境対策は大変良くできていると思っており、関係機関からも評価されている。

2) 資料修正・追加等

- ① P 3～5に事業費の乖離要因を追加
- ② P 6に参考値として無料化社会実験の影響を受けない平成23年7月～平成24年6月までの1年間の実績交通量を追加及び推計値からの交通量増加の主な要因を追加
- ③ P 17から東京都観光入込客数、高尾山ケーブルカー・リフト輸送人員、あきる野市のBBQ場入込客数の記載を削除し修正
- ④ P 25の評価結果及び対応方針(案)を一部修正

○日本海沿岸東北自動車道(新潟空港～荒川胎内)

1) 主な意見や質疑

- ① 無料化社会実験の影響を受けない、平成23年7月～平成24年6月までの1年間の実績交通量を参考値として資料に記載すること。
常に推計値がどの程度合うものかをチェックして欲しい。

2) 資料の修正・追加等

- ① P 3～5に事業費の乖離要因を追加
- ② P 6に参考値として無料化社会実験の影響を受けない平成23年7月～平成24年6月までの1年間の実績交通量を追加及び推計値からの交通量増加
- ③ P 22の評価結果及び対応方針(案)を一部修正

(3) 〈審議〉再評価の概要と対応方針(原案)

○関越自動車道 上越線(信濃町～上越JCT)

○東関東自動車道 千葉富津線(木更津南JCT～富津竹岡)

○一般国道126号 千葉東金道路(東金JCT～松尾横芝)

対応方針(原案)については事務局(案)のとおり了承された。

なお、評価内容に関する主な意見や資料の一部修正等は以下のとおり、

○関越自動車道 上越線(信濃町～上越JCT)

1) 主な意見や質疑

- ① 飛び出しによる死亡事故がこれだけ多いと言うのは異常事態であり、一刻も早く4車線化して欲しい。事故対策は行わなかったのか。
- ② 費用便益分析結果で全体事業と残事業というのが何を意味するのか一般の人は判らないため説明が必要である。

2) 資料の修正・追加等

- ① P 7に事故対策の実施状況を追加
- ② P 9、P 13の判りにくい用語については、判りやすく説明を追加
- ③ P 15の今後の対応方針(原案)を一部修正

○東関東自動車道 千葉富津線（木更津南JCT～富津竹岡）

1) 主な意見や質疑

- ①道路整備費を老朽化した構造物の点検や安心・安全のためにもっとかけるべきとの声が非常に高まっているため、当該区間の4車線化の必然性や優先性を説明することが必要である。

2) 資料の修正・追加等

- ①P 6に当該区間の4車線化の必然性や優先性を説明のため一部修正
- ②P 7、P 13に判りにくい用語については、判りやすく説明を追加
- ③P 15の今後の対応方針（原案）を一部修正

○一般国道126号 千葉東金道路（東金JCT～松尾横芝）

1) 主な意見や質疑

- ①完成年度が32年度と先であるため、直轄事業と連携をとって適切な時期に事業を着手し、4車線化への投資を行うこと。
- ②ネットワークの形成が図られてくると今後は道路の利用のし易さが求められてくることがメインとなり、維持管理についてもその一環で、あるものをより良く使っていくことが重要と考えている。4車線化についても同様に整備にあたっては優先度がどのようになっているかを今後は見えるようにすることが大事である。

2) 資料の修正・追加等

- ①P 12の判りにくい用語については、判りやすく説明を追加

(4) 〈報告〉合同審議対象事業の審議状況

関東地方整備局 事業評価監視委員会との合同審議状況について報告した。